

# 地域の活性化のため 幅広い年代が楽しめる新しいイベントを



▲令和7年度 開催の様子



船木 恵さん 長谷川 奈穂さん 山岸 圭さん

## sarufutsumarket

実行委員の山岸さん・長谷川さん・船木さんにイベントを始めたきっかけや初開催当時の思いについてお話を聞かせていただきました。

### 「イベントをはじめたきっかけ」

新型コロナウイルスの流行により村内のイベントが中止となり、「地域の活性化につながることをしたい」「子どもからお年寄りまで楽しめるイベントを開催したい」という思いが生まれてきたことがきっかけです。

また、子ども用のおもちゃなどまだ使える物を捨てるのではなく、必要とする誰かに譲る場をつくれなにかという思いもありました。

### 「大変だったこと」

子育てをしながら前例のないイベントづくりに挑み、ルール作りや出店者への説明などを手探りで進めるのは大変でした。何度も話し合いを重ね、ようやく開催にこぎつけました。

初開催の令和4年はコロナ対策も必要で、出店者の距離確保や会場の一方通行化、マスク着用のお願など、細部まで配慮しながら準備を進めました。

### 「継続の秘訣」

来場者のみなさんから「開催してくれてありがとう」「これからも続けてほしい」といった温かい声をいただくことが多く、イベントへの思いを大切にしながら継続していられています。

イベントの売り上げの一部は、村へ寄付しており、公園の整備費用や保育所のエアコン設置などに役立ててもらっています。こうした形で少しでも地域のお役に立てていると感じられることが、大きな励みになっています。

### 「これからについて」

今後も年に1回、sarufutsumarketを開催していきます！地域のみならず楽しんでいただける場を続けていくために、実行委員として一緒にイベントづくりに関わってくれる方や、事前準備や当日の運営を手伝ってくださるボランティアの方も募集しています。興味のある方がいれば、ぜひ気軽に声をかけていただけたらうれしいです。



▲さるふつマーケット Instagram